



神さまのいない日曜日
KAMISAMANO INAI NICHIGYORI
I



CONTENTS

- 第1章 日曜の人達 001
- 第2章 神話を愛する人のためにⅠ 041
- 第3章 神話を愛する人のためにⅡ 071
- 第4章 神話を愛する人のためにⅢ 095
- 第5章 神話を愛する人のためにⅣ 113
- 第6章 神話を愛する人のためにⅤ 141



作画: 助兵器
SAFARIKIKI
原作: 入江君人
KIHITO-IRI
キャラクター原案: 茨乃
SHINO

DRAGON COMICS AGE

あ-6
1-1
DRAGON COMICS AGE
神様のいない日曜日Ⅰ
KAMISAMANO INAI NICHYOBHI I
作画: 助兵器
原作: 入江君人
キャラクター原案: 茨乃
富士見書房

ISBN978-4-04-712728-9
C0979 ¥580E
9784047127289

1920979005808

ISBN978-4-04-712728-9
C0979 ¥580E

定価: 本体580円(税別)

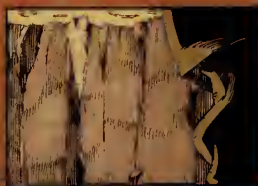
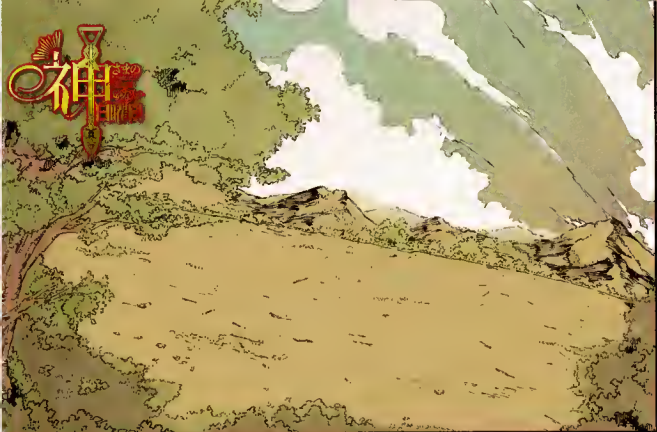
発行: 富士見書房
発売: 角川グループパブリッシング



人が生まれず死者が死なくなった世界で
死者に安らぎを与えられる唯一の存在・墓守
12歳にして村の墓守をつとめるアイは、
墓を掘りながら村人たちと穏やかな日常を過ごしていた。
だが、アイの住む村には
アイの知らない大きな秘密があった――



KAMISAMANO
INAI
NICHYOBHI







神さまのいない日曜日

KAMISAMANO INAI NICHIYOUBI



第1章 日曜の人達



作画: **助兵器**

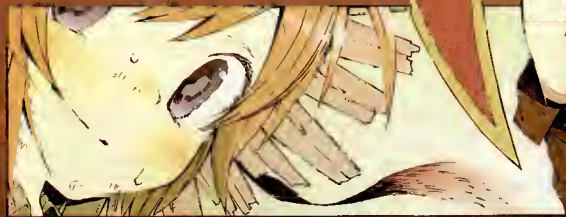
ABARAHIEKI

原作: **入江君人**

KIMIHITO IRIE

キャラクター原案: **茨乃**

SHINO



無^むす^らな^かつ^た
場^ば所^{しょ}に
有^ゆと^なが^でき^た

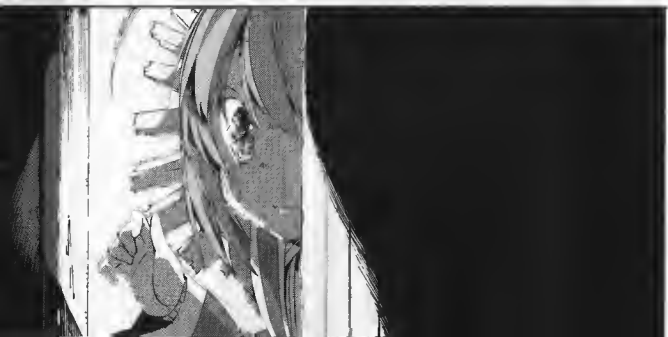
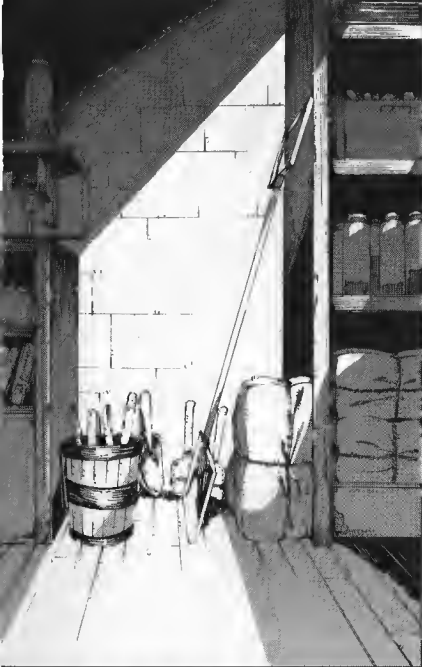




かみさま
神様は火曜に
せいとん
整頓と混沌を
きわ
極めた



じゆうふじゆう
自由と不自由が
ていぎ
定義され
ほんたう
根本的な方向性が
決まった

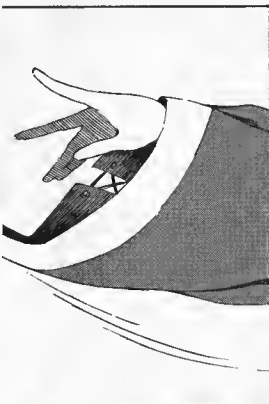


かみさき
神様は
すいろう
水曜に細々とした
すうち
数値をいじくった



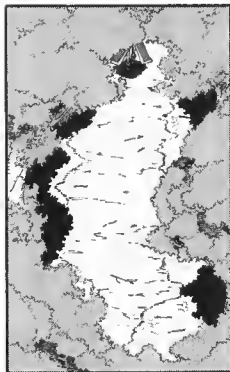
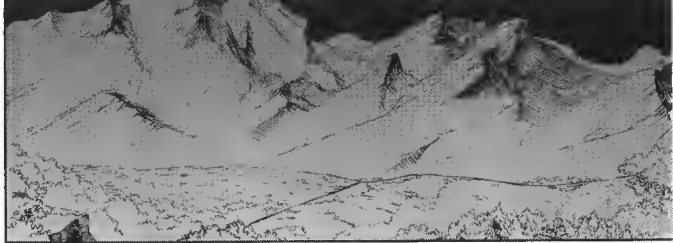
こまめんろ
細かく面倒な作業は
すば
素晴らしい
たろせい
多様性を産んだ





神様は木曜に
時間が流れるのを
許した

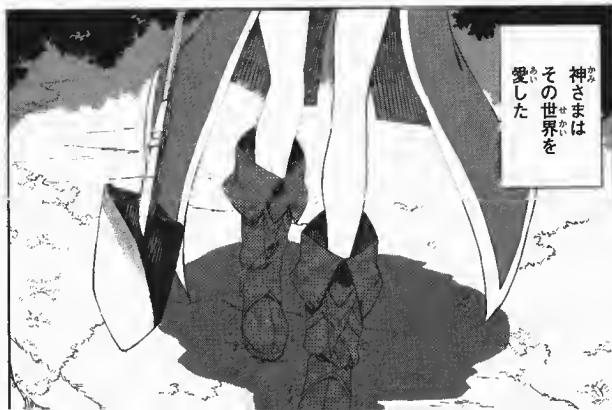
値は爆発的に
広がって最初の
スープが生まれた



かみさま きんよう
神様は金曜に
よすみずみ
世の隅々まで
みた

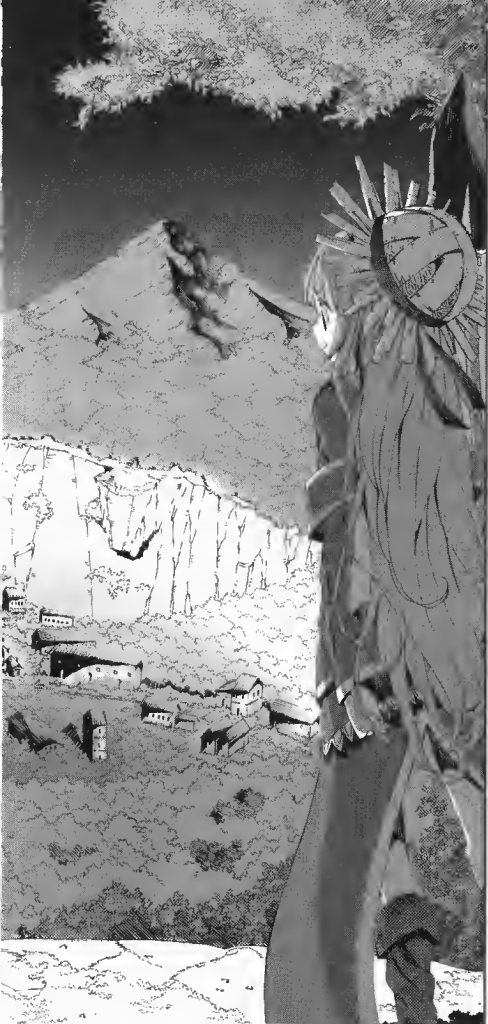


億の時が過ぎ去って
世界は理想的な
広がりを見せた



神さまは
その世界を
愛した

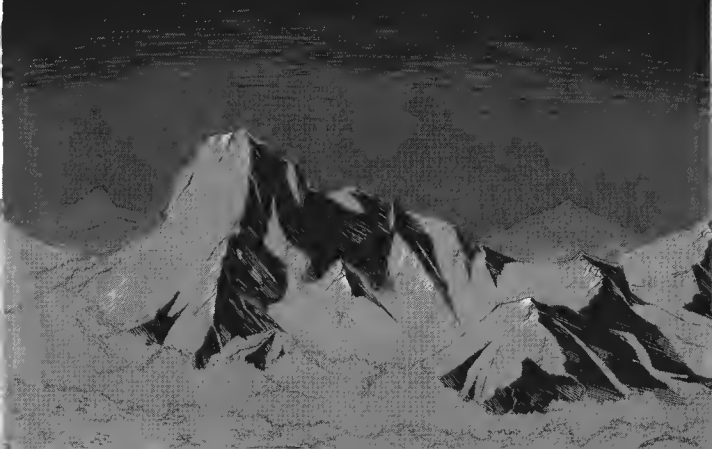
かみま
どよう
神様は土曜に
休んだ
やす



空間が
光と共に
百億も過ぎ去った



そして神様は
にちよう
日曜に
せかい
す
世界を捨てた



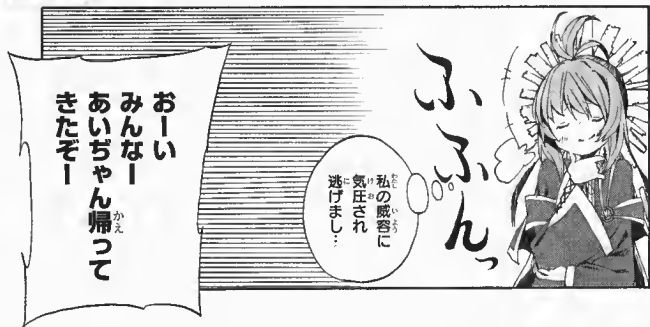
あの世は
もはや満杯だ

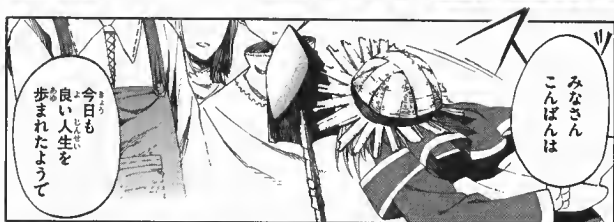
この世も
すぐに行き詰まる

ああ
失敗した

十五年前
その言葉だけを
残して…





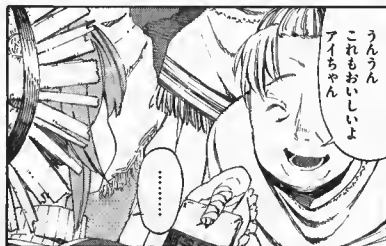




今日の分の
食事もありますっ



お菓子も
レモンドも
結構です！



うんうん
これもおいしいよ
アイちゃん

.....



さー！！

あとこれも



皆さんも
私に関わらず

自分の人生を
しっかりと生きて
ください！



いえ、番守様っ

はからひのけ

みんなからお菓子を
買って食べては
駄目と言ったでしょう!!!

まったく
食意地が
張っているん
だから……

わはしはそうよは
ほろはりはした!
へっはいしへふはい!!
(私は贈与は断りました
撤回してください!)

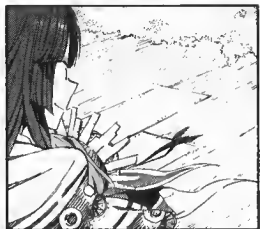
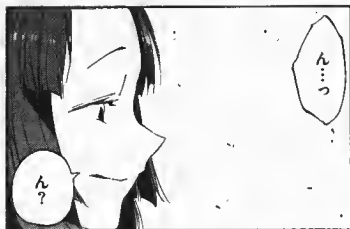
べーん















おや…
香水かを替かえたね
いい香りだ

あら
ありがと…



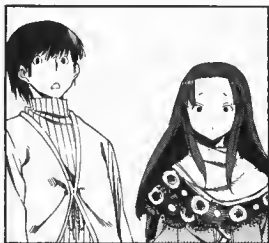
えい!!



ちよつとアイ!
お化粧けいずんが崩れ…

あ…
あのねアンナ
あのね!

ヨーキは
アイと結婚けっこん
するんです!





じゃあアンナと
結婚するというのは
どうでしょう？

どうてしよの
意味が
わからないわ

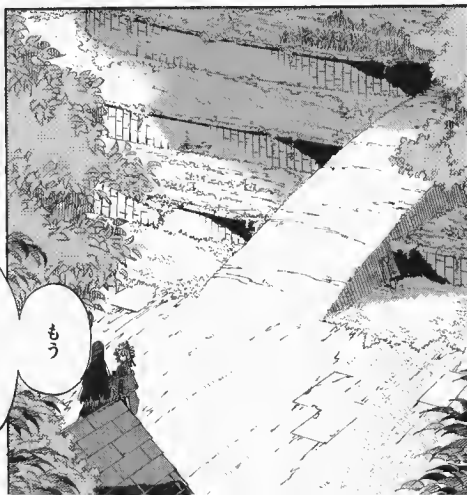


アンナは
知らないのですか？
他の国では
同性の結婚も認
められているのよ

博識な事
言えとも
いつてないわよ



あなたが
結婚したいくらい
私たちが好きだって
ことはわかったわ



もう









アイ

あなたの
お母様はアルファ様
ただ一人よ…

お父様も
いつかきつと
来て下さる



……
アンナ



だから
ほんの少しの
間だけ…

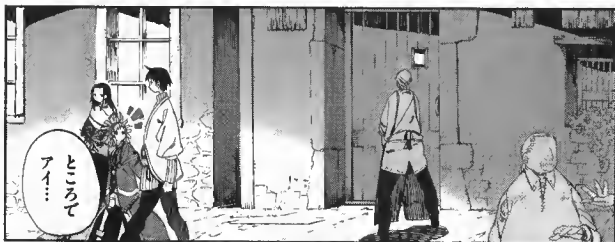
私^{わたし}に

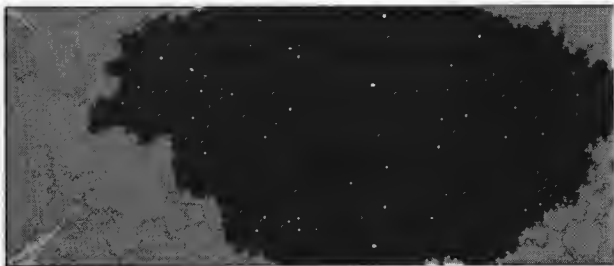
お母^{かあ}さんを
やらせては
くれないかしら

アンナが

お母^{かあさま}様……？







十五年前のあの日から
人の子どもは
生まれなくなり

……

人は
死ななくなった
……か



ははっ

見つけた……

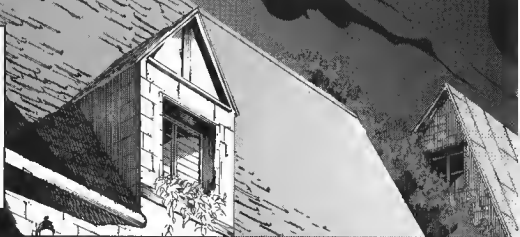








……あの日から
生者はあつという間に
少なくなり
世に死者が蔓延りました



そして
墓守が現れました

彼らは動き回る
死者を埋め
墓を作つて生者の
安息を守りました



人の眠りを
守るもの
それが墓守……

……アイ?

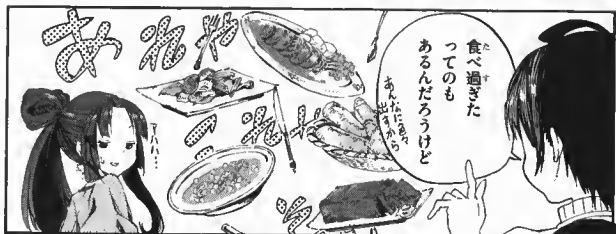
そうされて
やっと人は
安らかに眠れる
ようになったのです





きょう
今日も
お疲れ様……アイ

ほんとう
本当に
ありがとう







どういう意味さ...



最近よく
考えるの

あなたにとって
アイにとつての
一番の幸せ



あなたたち二人は
ある日この村を
出ていくの

そうして
別の土地で暮らすの

手に手をとって
全部の
眼魔化しを捨てて

四・五年経ては
アイは年ごろよ
きつとあなたを
好きになる

それが一番
自然で幸せな
道……

その道には
大切な前提が
抜けてるよ

僕が愛してるのは
君なんだ

アイ
じゃない

そんな事言つて
分かんないわよ

私なんて
これから
衰えていくばかり



信じて
アンナ

この命ある限り
君に真心を
尽くすよ

そうして
僕の命がつきたなら
一緒に眠ろう

死後無様に
さまようことなく
同じ墓で…





もう行くわ

あなたが
そんな事言^いっては
示^しがつかない！



だめよ



アンナ



帰^{かえ}っちゃうんですか？



アンナ

帰っちゃん
嫌です……っ



あら

起こし
ちゃった？



アイ……
アンナを
困らせては
いけないよ



でもアンナは
今日から

お母様なのに……



ちよつと
そんな顔
しないのっ

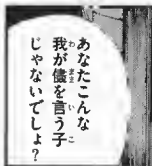


いつもの
事でしょう？



でもお母様は
同じ布団で…

…一緒に
寝るものでしょ



あなたこんな
我が儘を言う子
じゃないでしょ？



どうしたのよ
アイ…



アイ!!

アイ
すぐに
寝なさい

放してアイ
…お化粧がッ



アイ!!
いい加減に...

いま
いちど
今まで一度も...

アイ

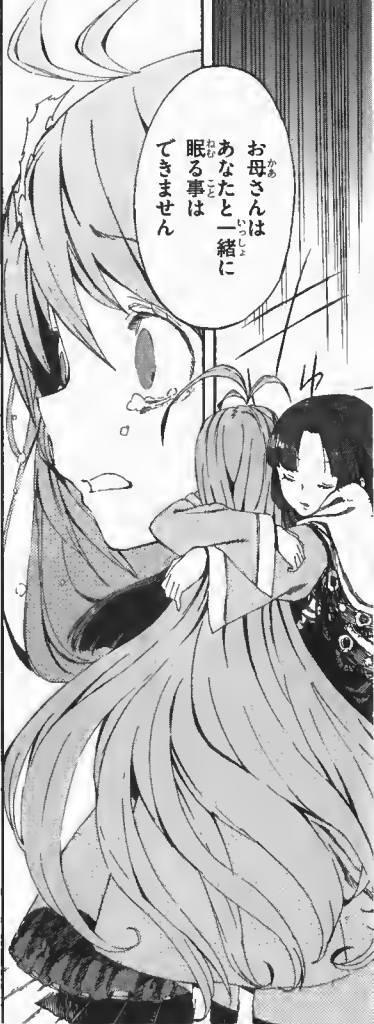


アイが我が儘なんて...


僕たちを
煩わせるなんて



なんだこの目は...



お母^{かあ}さんは
あなたと一緒^{いっしょ}に
ねむ^{ねむ}る事^{こと}は
できません



でもずっと
そば
側にいるわ





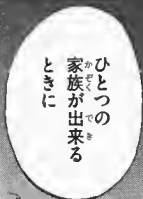




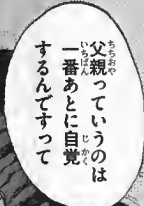
だ
と
い
い
け
ど



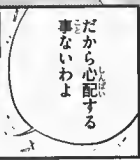
ヨ
ー
キ
は
し
ら
な
い
か
し
ら
？



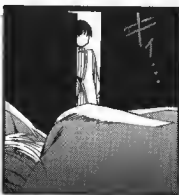
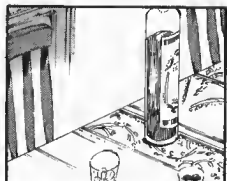
ひ
と
つ
の
か
ぞ
く
の
家
族
が
出
来
る
と
き
に

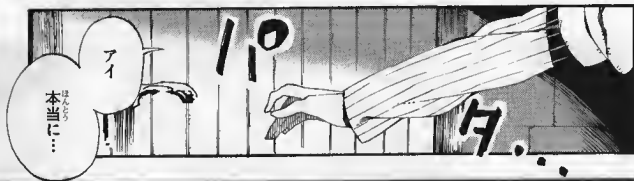


ち
ち
お
や
父
親
っ
て
い
う
の
は
い
ち
ば
ん
と
に
自
覚
す
る
ん
で
す
っ
て



だ
か
ら
心
配
す
る
事
な
い
わ
よ





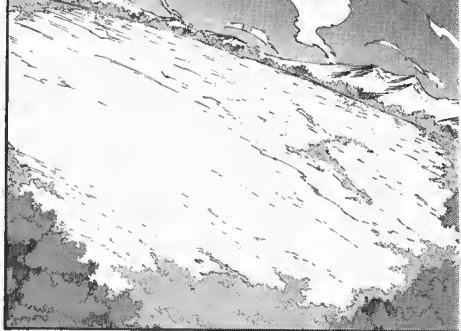
ほんとう
本当に…

アイ

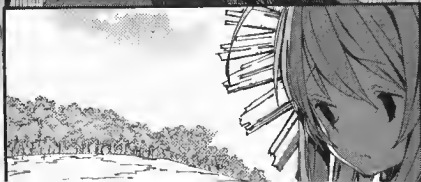
110

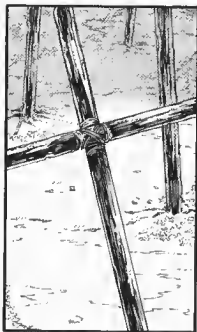
タ…

ごめんなさい…



なんなんですよーねっ





返事なんてあるハズないか



どうすれば
いいのしょうね

お母様……



吊ったんですから……



私がこの手で



わたしは
かもり
私
は
墓
守
……



でも
他人の
目に
映る
私は

かもり
墓
守
なの
かな
……？



葬儀は二度のみ

持つべき指標もない



村の人たちの

四十七個の墓穴を
掘っただけ



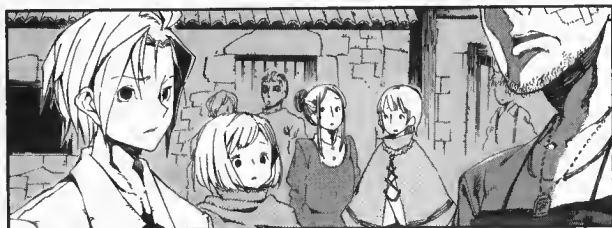
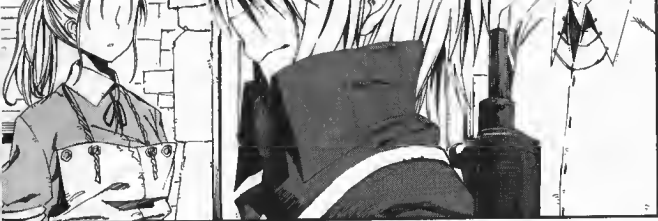
次は何を……次？

ここには誰が眠るの？



私は
その時になつて

きちんと墓守で
いられるでしょうか









さまの

KAMPAKAMADO

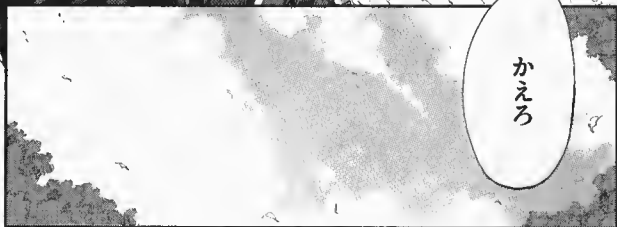
INAI

日曜日

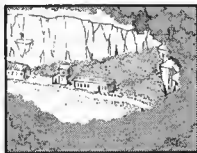
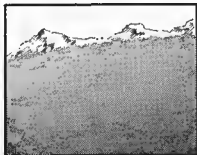
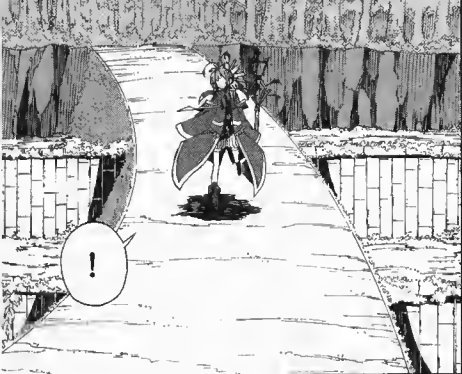
いない

日曜日





かえろ







失礼
しつれい





んてお前…
まへ

アイですっ

はかもり
墓守ですっ

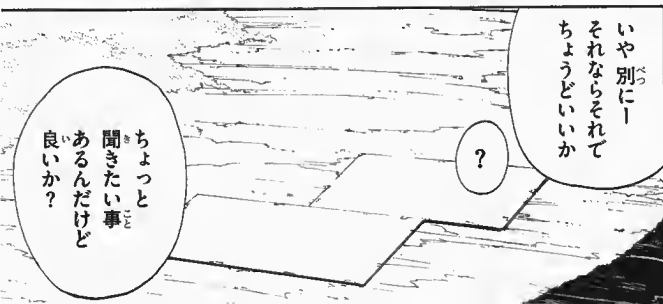


へえ

な…っ
なんですかつ



?



いや別にー
それならそれで
ちようどいいか

?

ちよつと
聞きたい事
あるんだけど
いいか?



しつもん けんさく
質問 検索

ハナと呼ばれる
あるいは名乗る
人間について
問い合わせたい

せいしと
生死は問わない



ついかけんさく
追加 検索

.....



これも
生死問わず
……だ



年は三十から四十
茶髪黒目で
ハッキリした顔立ち

背は俺と同じ
くらいで
胸は小さい女だ



すいません

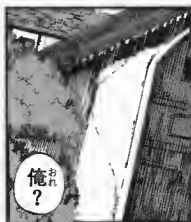
思い当たらない
です……

不覚……





ハンブニーハンバート
人食い玩具^グさ



俺^{おれ}？



ああ
そうだな

俺^{おれ}は…



わかりました！

ハンブニー
ハンバートさん
ですわっ

おほん
ましたぞ

まてい！
捕縛するな！！

そんな名前^{なまえ}の
奴^{やつ}がいるワケ
ねえだろ！！



？

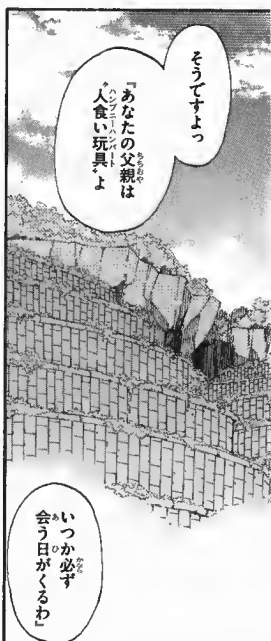
でもそう
名乗^{なのもう}ったじや
ないですか

なんなんですか？

ジョーク
だよ！

なにか？

お前のまわりには
人^{ひと}食^くい玩具^ぐなんて
名前^{なまえ}の奴^{やつ}いるのか！？





まさか

お父様!
とうさま

あらまあ!!

なんでだよ!!

どうやってら俺が
おれ
お前の親父に見える!?
まえん おやじ

どんな
思考回路
してんだ!!



キョト...



うーん

たしかに
ハンブニーさんは
ハンブニー
十七八歳にしか
見えませんし

私の中の
わたし なか
お父様像とは
おとうさま
ズイブンと
違いますけど...

てっきり
四十前後の
タフガイかと

.....



話か
めんどう
になっ
てたぞ。。

お父様は
お父様ですっ

まあ
そんなのは
小さな問題

へー！
なんて？



運命を
感じました
うんめい
かん





お父様

…ね



俺と
会話する気
ないのか？

そんな事
ないですよ
お父様



どちらに
向かうのですか？
お父様

お前さー
確か墓守
だったよな？

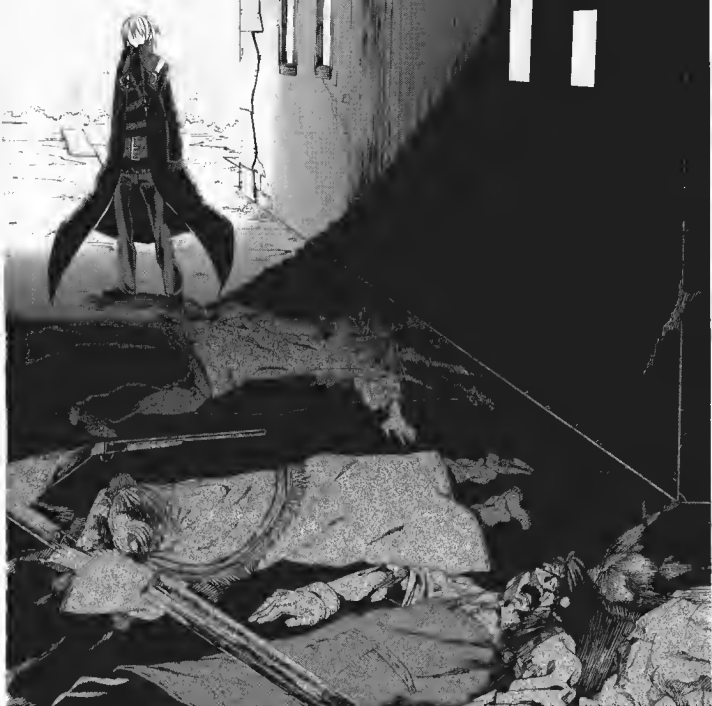


墓守様

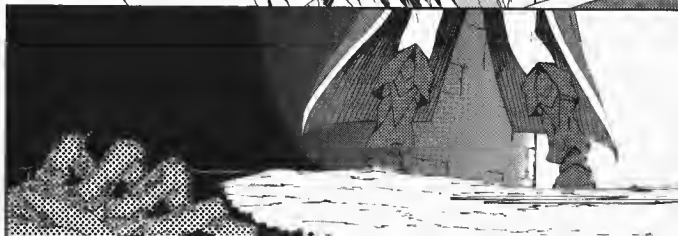


……はい

だったら
仕事を一つ
頼もうかな









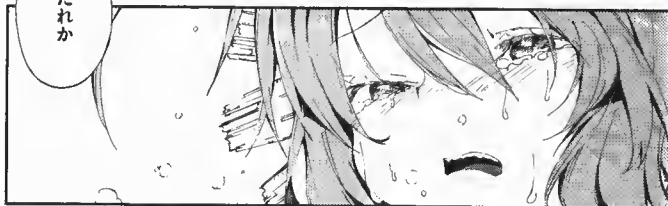






だれか

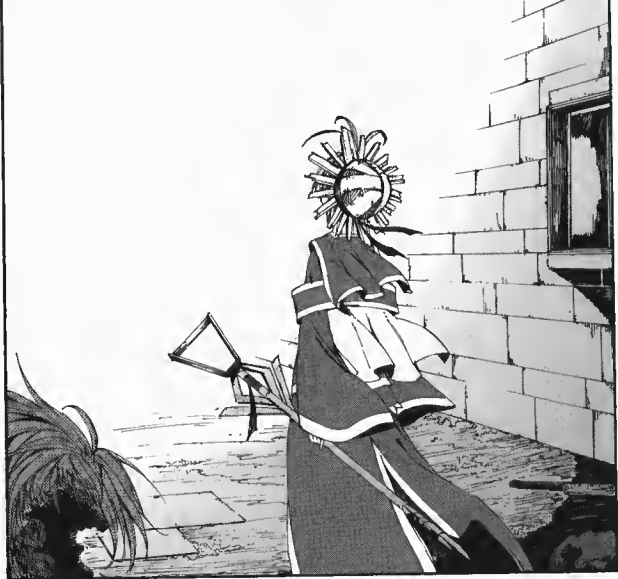
だれか



せいじゃ
かた
生者の方は
おりませんか!!









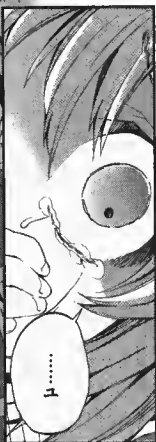


あいちゃん
じゃねーか

どした
なんて泣いてる？



ユートおじ様……



……ユ



おじ様……

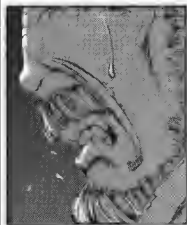
あの

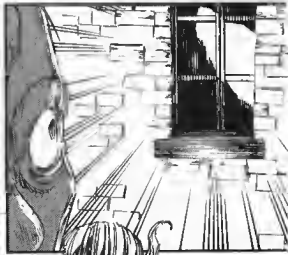
頭が
怪我が……















いま
まめつぶだいの
鉛玉をまとめて
その辺にばらま
こうと思う

二秒後だ



ひとつ





じっと
してろ……

あいちゃん



そんな
尊敬する

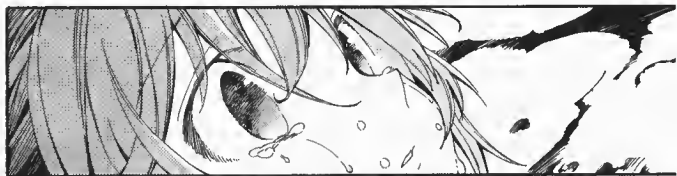


すば
らしい

いい
態度だ

みな
見直した

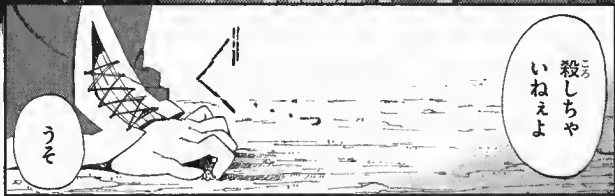








あなたが
みんなを
殺したんですか



うそ

殺しちや
いねえよ



人が人を殺す
時代は終わっち
まったんだ

俺は……
頭吹っ飛ばしたり
背撫えぐったり
しただけだよ



うそじゃ
ねえよ



殺すのは

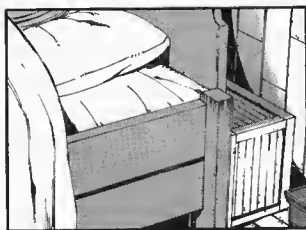
墓守の仕事だ

だま
黙れ















シヨベルが
無い…



カ
チャッ

！



朝…
あさ

ひとばんじゅう
一晩中
ねむ
眠っていたの
ですか



ゆめ
夢をみた……



なんだか……

よくわからない夢
ゆめ



ダイコ
おじさまの
のぼり
登り窯……





そうじゃなくって!

?
名乗ったろ



ゆめ
夢……じゃなかった……

あなた……

あなたは……



なにが

なぜ

どうして

こんな

わたしは

みんなは



なにが
なんですか



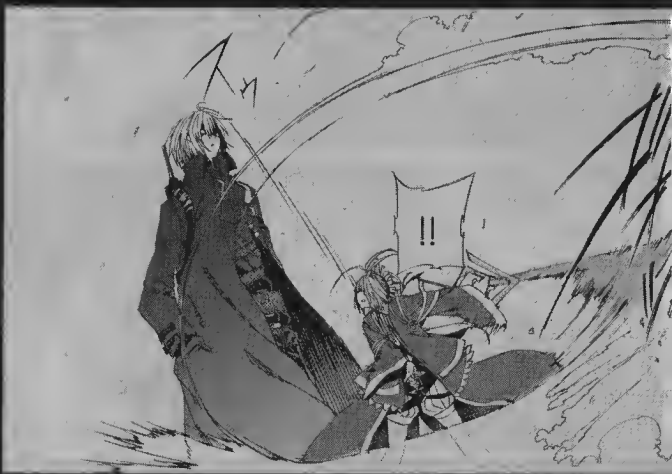




はかもり
まるで……墓守……











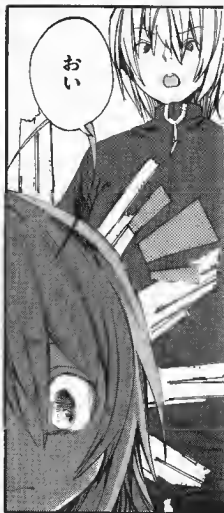
もう
夜か……



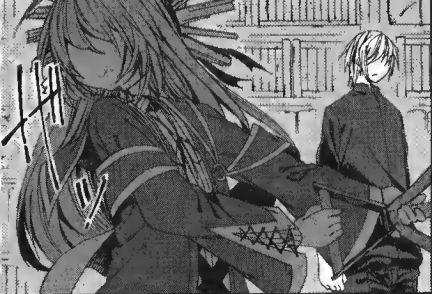
めし
飯を喰え

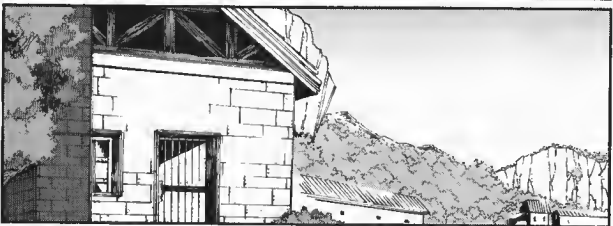
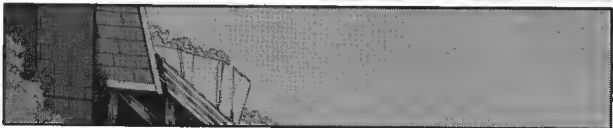
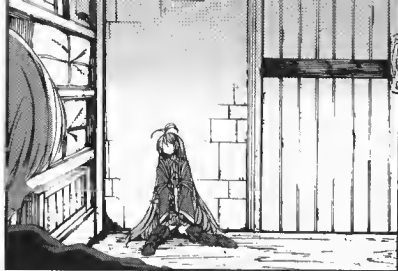
あと

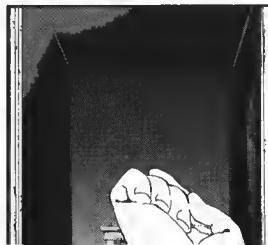
いい
寝ろ
かげん
減

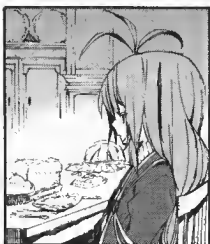


おい





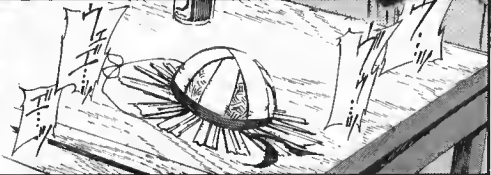








喉^{のど}を通らないと
思^{おも}ってたのに…
こんな…
簡単な^{かんたん}に…ッ



生きてゐるのが



ひどく申し訳なくて

どうでも構ひはなくて

このまま死にたい



ヨーキ…

アンナ…





焼いた死者の
数は四十五……

村人の分だけ掘った
墓穴の数は四十七……

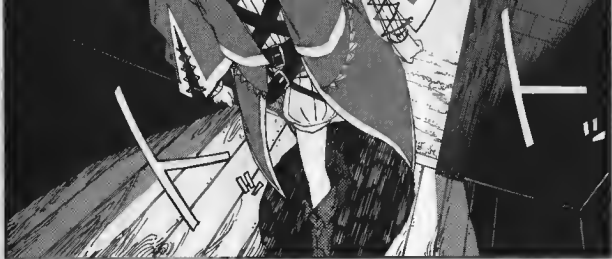


あとは
目一キとアンナだけが



わからない……











……まったく

これだから…

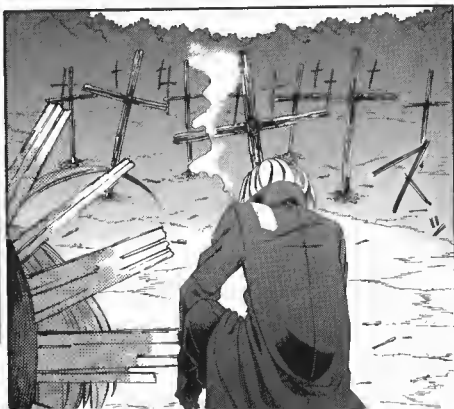




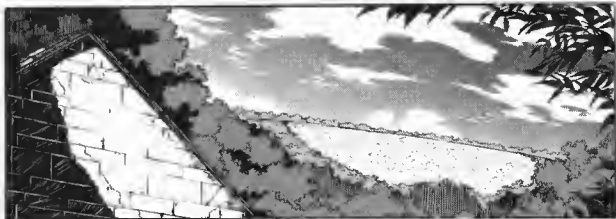












あした
明日には
ここを出る

まええ
お前はこれから
どうする？



えっと…
これ…から







紹介状しょうかいじょうを
書いてやるよ



…紹介状しょうかいじょう

ああ
どっか養子やしこに
引き取ってもらえる
ようにな
俺おれはこう見えて
願ねがが利きくんだ

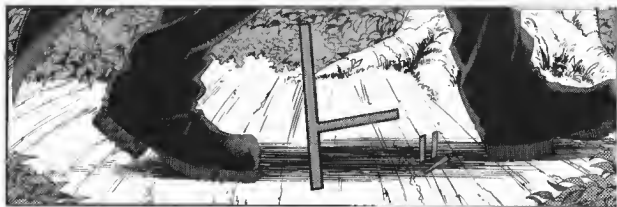


…助たすけて
くれるのですか？

餓鬼がきをこんなところに
ほっぽり出して
いけるか
俺おれはこう見えて
大人おとななんだよ

まあ心配しほい
すんなよ

こんな世よの中でも
良い人間にんげんってのは
いるもんだ







嘘……
確かにみんなは私に
隠し事を……騙そうと……

でも
お父様……

だから
親父じやねえって

いいか
俺の本名は
人食い玩具

ではない

え？
でも……

人食い玩具ってのは
そもそも
おとし話だ

ゼンマイが
壊れて永遠に
動き続ける
玩具の名前だ

昔は子どもに言って
聞かせたもんだよ
早く玩具を片付けないと
人食い玩具が来るぞ！
ってな

俺はそれを
拝借して
使っているだけさ

さてそこで……
この村の連中は
何をしたかったん
だろうねえ

ただの餓鬼を
墓守だと
信じ込ませ

そのくせ
親がいると言い
親父は人食い玩具
だと教える

滅茶苦茶だ

それは

なんなんですか…

いったい何が
なんなんですか…



いや
墓の下
か...



真実
は
間
の
中
.....



俺
を
殺
し
た
い
か
?

!!





どうしてそんな事
聞くんだろう

そんなものつ
あたり前……!!



……だと
思えない……



証拠はなににもないけれど
私は……私には……

この人は私の父親なんだ……



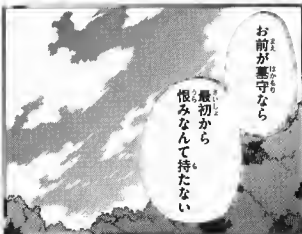
この人はみんなを

吊った……



お前が
墓守なら

生者に殴り
かかったりしない



お前が墓守なら

最初から
恨みなんて持たない



お前は
墓守じゃない

人だ



わたしは……
それでも

はからり
墓守です……

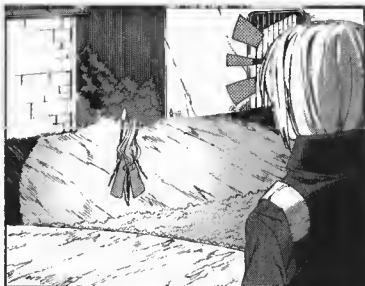
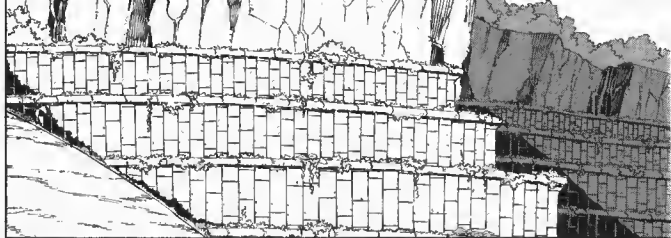


人の中で
生きて
いきたいなら



受け容れろ





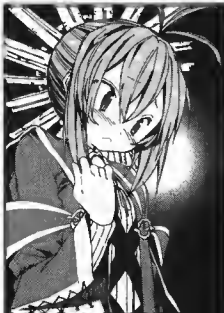
ああいうのを
言うんだぜ

.....

よう

これはこれは
初めまして







あ…あの
すこゝ綺麗ですね



は…
初めまして

アイと
申します…？



お褒めに
あずかり
光栄です



は…
初めまして

私は
傷持ちと申します



DRAGON COMICS AGE

ドラゴンコミックスエイジ

神さまのいない日曜日 1

原作
いりき せみひと
入江君人

作画
あばらへい き
肋兵器

キャラクター原案
しの
茨乃

2011年6月9日初版発行

発行者/**山下直久**

発行/**富士見書房**

<http://www.fujimishobo.co.jp>

〒102-8144 東京都千代田区富士見 1-12-14 (03)3238-8591 (編集)

発売/**角川グループパブリッシング**

〒102-8177 東京都千代田区富士見 2-13-3 (03)3238-8521 (営業)

カバー・本文デザイン/**仲重舎**

印刷/**大日本印刷**

製本/**BBC**

初出/月刊ドラゴンエイジ(富士見書房刊) 2010年11月号～2011年4月号

本書の無断複製(コピー、スキャン、デジタル化等)並びに無断複製物の譲渡及び配信は、著作権法上での例外を除き禁じられています。また、本書を代行業者等の第三者に依頼して複製する行為は、たとえ個人や家庭内での利用であっても一切認められておりません。

落丁・乱丁本は、ご面倒でも角川グループ受注センター読者係までお送りください。送料は小社負担でお取り替えいたします。
この作品はフィクションです。実在の人物・団体とは関係ありません。

2011 Fujimishobo, Printed In Japan

©2011 ABARAHEIKI

©2011 KIMIHITO IRIE・SHINO

ISBN978-4-04-712728-9 C0979
